

## 東日本ユニオンに 結集しよう!



各地で新たな仲間の  
加入が相次いでいます!

◆本部申10号 申入れ項目

1. 鉄道車両製造事業の再編以降の実情を踏まえた成果と課題、および鉄道車両製造事業に関する今後の展望を明らかにすること。
2. 「経営の第4の柱」の確立について現在の到達点を明らかにすること。

# 車両製造事業の未来を切り拓こう

## 本部申第10号「車両製造事業に関する申し入れ」

中央本部は10月31日、申10号として「車両製造事業に関する申し入れ」を提出しました。JR東日本の鉄道車両製造部門の今後の展望を明らかにし、未来を切り拓くために申し入れを行いました。

2014年4月に新津が多発している状況にある車両製作所における鉄道車両製造事業が(株)総合車両製作所(J・TREC)に移管され4年が経過しました。

この施策はグループ会社との相乗効果を最大限に発揮し、グループの有する製造・運行・メンテナンスなどの技術力を結集することで「経営の第4の柱」とするものでした。

しかし横浜事業所と新津事業所の意思疎通や情報共有の不足による混乱をはじめ、体制の問題などにより、職場では「グループ会社との相乗効果」が実感できていません。

職場では退職者が増加する一方で新規採用者は少なく、慢性的な人手不足の中で工程を最優先した結果、超過勤務や休日出勤し入れました。

職場で働く仲間たちの声を基に、今後の展望を明らかにし、車両製造部門における未来を切り拓くため、中央本部は申10号を申し入れました。

さらに工具や保護具の手配遅れや福利厚生面での事務手続きの煩雑さなども相まって、施策に伴い

J・TRECおよびJR東日本テクノロジ(JR TM)に提出した社員からは、さまざまな不安や不満の声も上がっています。

社員一人ひとりが仕事に対する安心感と将来展望を実感することなしに、安全かつ高品質の車両を提供することはできません。

この間、地主主催の製作所組合員集会や製作所協議会の会議などを通じて議論を重ねてきました。

職場で働く仲間たちの声を基に、今後の展望を明らかにし、車両製造部門における未来を切り拓くため、中央本部は申10号を申し入れました。



5. J・TRECの受注の考え方を明らかにすること。

6. 今後3年間のJ・TREC横浜事業所および新津事業所の新規採用、社団法人採用の規模および教育体制等の考え方を明らかにすること。

7. 今後3年間のJR TMの採用の規模および教育体制等の考え方を明らかにすること。

8. 今後3年間の部外能力活用の考え方を明らかにすること。

9. 出張時のルールを明らかにすること。

10. J・TREC新津事業所内にJR東日本新潟支

3. 「グループ会社との相乗効果」について具体的な事例を明らかにすること。

4. 今後3年間のJ・TREC横浜事業所および新津事業所の生産計画を明らかにすること。

## 「電気部門の変革」について提案を交える

中央本部は11月22日、経営側より「電気部門の変革2022」について提案を受けました。

「設備のシステムチェンジ」「スマートメンテナンス」「工事の機械化・効率化」を3本柱として、安全の確保をベースに「技術的な判断や業務に注力」する働き方を実現するとしています。

### ◆提案内容(概要)

#### 1. 実施事項

- (1) 電気部門の新たな新幹線体制の確立
- (2) 電気部門の在来線の効率的なメンテナンス体制の確立
- (3) スマートメンテナンス導入等によるメンテナンス業務のスリム化
- (4) 技術センターにおける業務の簡素化
- (5) エネルギー管理センター

#### 1. 効率的なメンテナンス体制の確立

2. 実施日 平成31年4月1日

#### ◆団体交渉のポイント

○安全・安定輸送  
電気部門の最大の使命は「安全・安定輸送の確保」であることはブレない。

○検査業務等  
スマートメンテナンス

11. 以上に対する回答を2018年11月30日まで書面にて行うこと。

社務センター新津派出所(仮称)を設置し、出向者が直接事務手続きを行うようにすること。

現場に行つての検査・調査がモニタリングに置き換わることで「検査・調査箇所に対応する技術」から「モニタリングデータを解析し予兆に対して手当する技術」が必要となる。

動き方も「3日に1度、現場で調査」から「モニタリングデータを解析し悪い予兆をピンポイントに狙って現場に行く」ことに変わる。働き方の変更にあつた教育を考えていく。

## 団体交渉の日程決定!

申2号  
次期ダイヤ改正から導入する「行路選択制」に関する申し入れ

2018年12月18日(火)  
13時30分より

団体交渉に向けて  
職場からたたかいて作りだそう!

